

# 福島駅前交流・集客拠点施設 整備基本計画策定委員会

## 【第1回会議】

と き 平成31年3月20日(水)

ところ 福島市役所4階 庁議室

# 目次

1. 委員会の目的・役割 …… P1
2. 風格ある県都を目指すまちづくり構想 …… P4
3. 福島駅前交流・集客拠点施設 …… P7
4. 福島市公共施設の戦略的再編整備  
検討委員会等における議論の経過 …… P12
5. 参考資料 …… P18
6. 福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)  
…………… P28
7. 今後の進め方 …… P40

# 1. 委員会の目的・役割

## (1) 目的

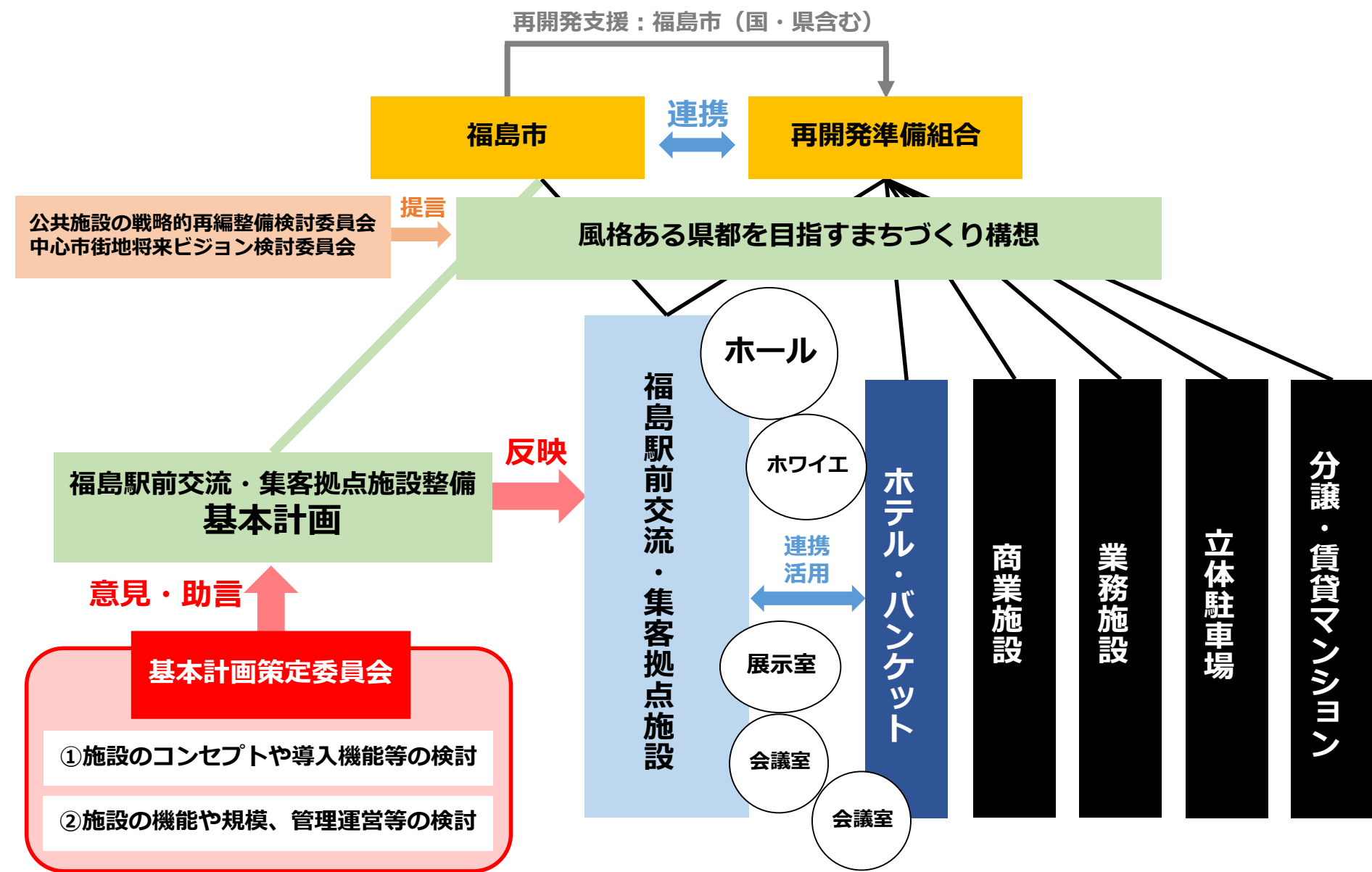
「**風格ある県都を目指すまちづくり構想**」を実現するため、市が、福島駅東口に整備を目指す**福島駅前交流・集客拠点施設**に関し、2019年度内に**施設整備基本計画**を策定するため、必要な事項を検討し、助言を行うこと。

# 1. 委員会の目的・役割

## (2) 役割

- ① 施設のコンセプトや導入機能等の施設整備  
基本構想に関する事項の検討
- ② 施設の機能や規模、管理運営等の施設整備  
基本計画に関する事項の検討
- ③ その他、目的を達成するために必要な事項の検討

# 【基本計画策定委員会の役割】



## 2. 風格ある県都を目指すまちづくり構想

### 中心市街地における諸課題

#### ○公共施設の老朽化

- ・公会堂(築59年、休館中)
- ・図書館(築59年)
- ・中央学習センター(築59年)
- ・市民会館(築47年)
- ・消防本部・福島消防署(築47年)
- ・その他

#### ○市役所本庁舎西棟の建設延期

#### ○人口減少、少子高齢化の進展

#### ○中心市街地の空洞化

- ・中合式番館の閉館 等

#### ○駅前再開発事業の動き

#### ○サッカースタジアム、新東西自由通路の検討

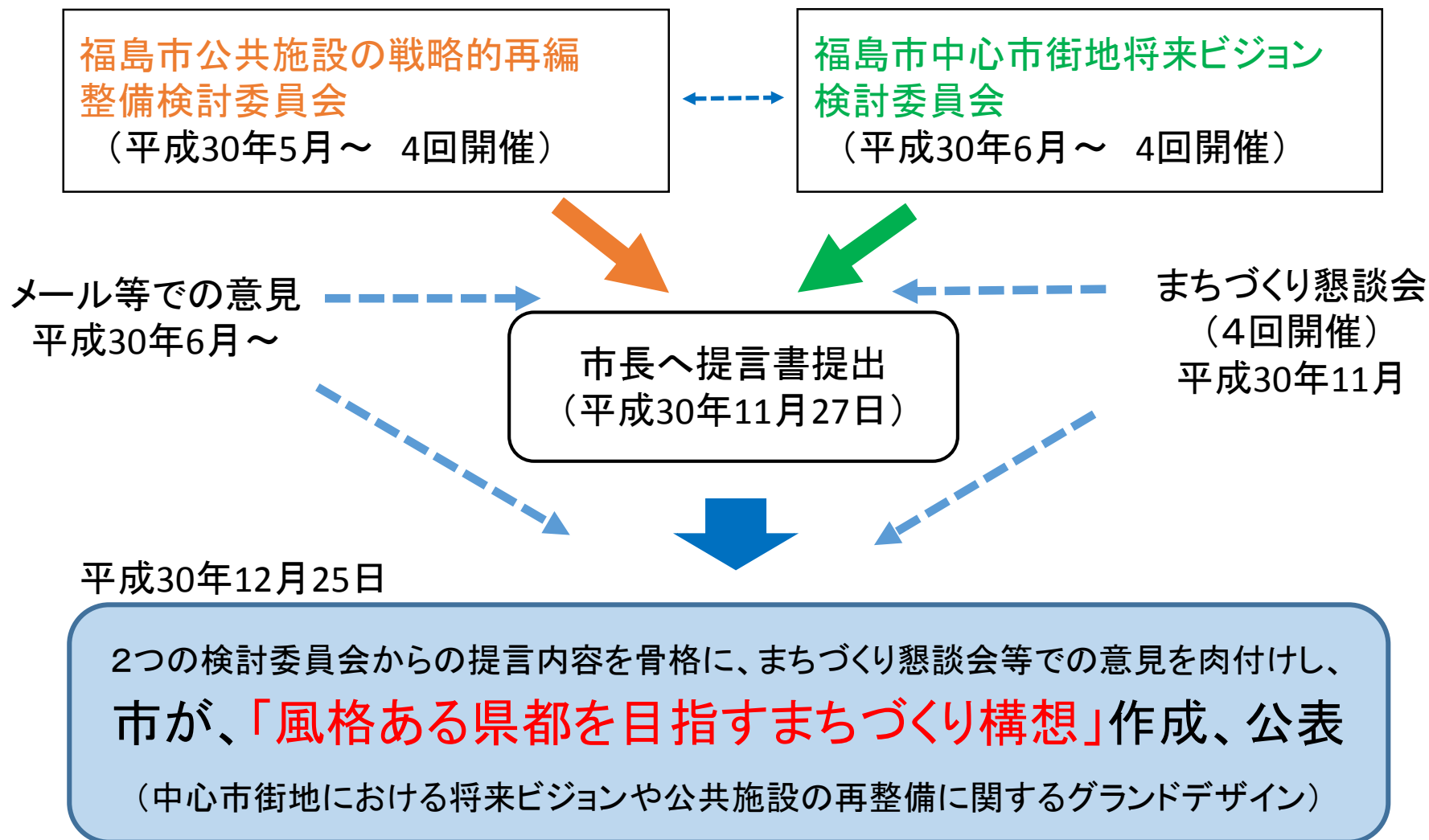


一方、本市が新しいステージへ飛躍する絶好の機会

- ①東北中央自動車道の開通
- ②東京2020オリンピック・パラリンピック開催

中心市街地における将来ビジョンや公共施設の再編整備の方向性の検討

## 2. 風格ある県都を目指すまちづくり構想









### 3. 福島駅前交流・集客拠点施設

#### (1) 福島駅前交流・集客拠点施設とは

公会堂の機能及び市民会館の機能の統合化により、**コンベンション機能**を強化し、新たな交流・集客拠点として、**福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)**と連携し、再開発予定地内での整備を目指す、**コンベンションホール**や**会議室群**等で構成する施設

### 3. 福島駅前交流・集客拠点施設

#### (2) コンベンションとは

- **狭義**では、国際会議や、学会や産業団体、政府等が開催する大規模な会議などを意味する。
  - **広義**では、**MICE**と同義であり、企業等の会議 (**Meeting**)、企業等が行う報奨・研修旅行 (**Incentive Travel**)、国際会議や全国規模の大会、学会等 (**Convention**)、展示会・見本市、様々なイベント (**Event/Exhibition**) を意味する。
- ⇒ **風格ある県都を目指すまちづくり構想**においては、**広義**の意味で用いている。

### 3. 福島駅前交流・集客拠点施設

#### (3) 福島駅前交流・集客拠点施設の方向性

市民生活向上と文化の発展はもとより、  
県北全体の定住化・活性化の拠点となる施設



具現化に向けて

- ① 多様な交流の創出を図るとともに、交流人口拡大による賑わいの創出や復興の推進を図るため、**コンベンション機能**を強化
- ② **市民利用**や**文化芸術活動**の場として活用

### 3. 福島駅前交流・集客拠点施設

#### (4) 検討課題

- ① 公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえた真に必要な機能の選択や、持続可能な質と量、運営のあり方の検討が必要
- ② 想定催事の開催件数や利用者数等を分析するとともに、イニシャルコスト及びランニングコストを含めた費用対効果等の検証を踏まえ、福島市の強みを十分に活かし拠点性を強化する内容の検討が必要
- ③ 施設の整備や運営面における官民の連携・役割分担について検討が必要
  - ➡ コンベンション機能の強化にあたり、すべての機能を行政で整備することは困難であり、会議室機能の一部やバンケット機能、宿泊機能等について民間による整備を期待

### 3. 福島駅前交流・集客拠点施設

#### (5) 基本計画策定に向けて

検討課題等に関する調査結果や策定委員会からの助言等を踏まえ、

市は、施設のコンセプト、機能、規模、管理運営等に関する事項を規定する施設整備基本計画を2019年度内に策定予定

策定委員会の役割(再掲)

- ・施設のコンセプトや導入機能等の施設整備  
基本構想に関する事項の検討
- ・施設の機能や規模、管理運営等の施設整備  
基本計画に関する事項の検討

## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### 施設機能等について

- ・施設の構成としては、**大ホール・多目的ホール(又は展示ホール)・会議室群**による複合型施設として、拠点性を強化する必要がある。
- ・施設整備により**市が保有する面積は、再編される施設の現有面積並**とし、バンケット機能や会議室機能の一部などは民間活力による整備を期待する必要がある。



## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### 施設機能等について

- ・既存施設では受入れが困難である比較的大規模な会議(2,000~3,000人規模)について、大ホールや多目的ホール等を合わせた施設全体で対応できる内容を想定する必要がある。
- ・大ホールの規模を検討する際には、収益分岐点(1,500席程度)や、文化芸術ホールとしての市民利用機能(600~1,000席程度)を考慮する必要がある。
- ・既存のホール機能・コンベンション機能との連携や棲み分けを考慮する必要がある。

## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### 施設機能等について

- ・駅前再開発事業と連携することで、**保留床取得等による施設整備が可能**となり、**用地取得の課題をクリア**できる。また、**施設運営時に民間機能と連携した効果的・効率的なサービス提供が可能**となる。
- ・施設整備や誘致活動・主催者支援を含めた効果的な施設管理運営にあたっては、再開発事業者を含めた民間事業者との連携や役割分担のあり方を検討する必要がある。

## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### 福島市の強みについて

- 福島の県都であること
- 東日本大震災被災地としての世界的な知名度
- 大学が集積し、質の高い教育を提供  
(市内5大学)
- 交通の要衝であり、首都圏等からもアクセス良好  
(鉄道: 東北・山形新幹線)  
(高速道路: 東北道、東北中央道の結節点)
- 四季を感じる豊かな観光資源  
(3温泉地、浄土平・花見山、フルーツライン等)

## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### 福島市の弱みについて

- 商圏として独立した都市圏ではなく、規模が小さい  
(福島市は仙台商圏の一部)
- 宿泊環境の不足  
(駅周辺の客室: シングルタイプが約1,720室)
- 関係者が一体となったMICEの誘致体制・受入れ体制が確立されていない

## 4. 福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会等における議論の経過

### その他のご意見等

- まちづくり懇談会における市民の皆様との意見交換  
【H30. 11月(4回)、H31. 2月】
- 市議会全員協議会における構想の発表・協議  
【H30. 12月】
- まちづくり関係者等からの提言・要望
- 市ホームページ等による市民の皆様からのご意見の随時募集

## 5. 参考資料

### (1) コンベンション施設の構成

コンベンション施設は一般的に、以下の**全て**、又は、**一部**の施設機能によって構成される。

施設機能	説明
①メインホール	段床式で固定席(一部稼働席の場合もある)を有するホール
②多目的ホール	広々とした空間の平土間式のホール
③展示ホール	大型の搬入口を有する、柱のない大規模な空間
④会議室群	収容人数の異なる複数の会議室や研修室。中規模な会議から、学会等の分科会、各種研修会に対応



# (2) 市内の主なコンベンション施設

(福島市コンベンションガイド より)

1

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)



福島市春日町5-54 TEL 024(534)9191

<http://www.culture-center.fks.ed.jp/>



大・小ホールのほか、**展示会場**としても使用できる会議室など、**多目的に使用**できます。

部屋の名称	面積 (㎡)	収容人数 (席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
大ホール	-	1,752	-	-	-	-	ほか車椅子席6席
小ホール	-	379	-	-	-	-	ほか車椅子席5席
2階会議室兼展示場	466	-	-	200	-	-	
3階展示室	505×2室	-	-	-	-	-	県内最大規模美術展専用
視聴覚室	110	108	-	-	-	-	
1階会議室	-	-	-	-	-	-	口の字形式で26人収容可
第1和室	20畳	-	-	-	-	-	
第2和室	20畳	-	-	-	-	-	
応接室	-	-	-	-	-	-	口の字形式で10人収容可

駐車場収容台数	450台 (大型バス可)
バリアフリー	身障者用トイレ、スロープ、エレベーター
開館時間	8:30~19:00 ※イベント時は公演終了まで
休館日	不定休 (施設メンテナンス日)

## Access

- JR福島駅から市内循環バス1・2コースに乗車(約15分)「聖母短期大学」停留所下車、徒歩約5分。
- 東北自動車道「福島飯坂IC」から国道13号線経由、約10分。「福島西IC」から国道115号線、国道4号線経由、約20分。

2

## パルセいいざか(福島市飯坂温泉観光会館)



福島市飯坂町字筑前27-1 TEL 024(542)2121

<http://paruse.jp/>



コンベンションホール

1,940名収容のコンベンションホールは、座席を取り外すと約900㎡の空間にすることができるため、大会・会議はもとより展示会など多彩な催し物に対応できます。

部屋の名称	面積 (㎡)	収容人数(席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
コンベンションホール	893	1,940	1,000	744	500	650	固定席の内1,356席は壁面収納可
2階ホワイエ	481	-	410	335	220	280	
3階ホワイエ	80	-	130	100	70	90	
第1会議室	198	-	220	180	120	150	113㎡、85㎡へ2分割可
第2会議室	198	-	220	180	120	150	//

駐車場収容台数	232台(大型バス可) 別途無料臨時300台、有料臨時70台(いずれも大型バス可)
バリアフリー	身障者用トイレ、エレベーター、点字ブロック
開館時間	9:00~21:30 ※時間外の利用も可
休館日	不定休 (施設メンテナンス日)

### Access



JR福島駅から福島交通飯坂線乗車、「飯坂温泉駅」下車、徒歩約7分。



JR福島駅から約25分。  
東北自動車道「福島飯坂IC」から約10分。





福島市入江町1-1 TEL 024(531)6221

<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/ongakudou/>



大ホール



大ホール

デンマーク国のパイプオルガンを有する大ホールは、日本有数の素晴らしい音響効果を持つホールとして知られています。

部屋の名称	面積 (㎡)	収容人数(席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
大ホール	1,055	1,002	-	-	-	-	車椅子席5席含む
小ホール	266.5	-	200	-	-	-	

※大ホールは音響効果に優れたコンサートホールの設計です。会議等でご利用の際はご相談ください。

駐車場収容台数 約170台(大型バス不可)

バリアフリー 身障者用トイレ、スロープ

開館時間 9:00~21:00

休館日 年末年始

### Access



JR福島駅2・3番乗り場(伊達・保原方面)から乗車(約10分)「日赤病院前」停留所下車、徒歩約3分。



東北自動車道「福島飯坂IC」から国道13号線経由、約10分。「福島西IC」から国道115号線、国道4号線経由、約20分。



## 4 福島テルサ



福島市上町4-25 TEL 024(521)1500

<http://www.f-shinkoukousha.or.jp/tersa/>



駅からの利便が良く、用途や人数に応じ幅広くご利用いただけます。各種催しはきれいで快適なテルサで！

部屋の名称	面積 (m <sup>2</sup> )	収容人数 (席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
FTホール	811	473	-	-	-	-	ほか母子席7席
大会議室(あぶくま)	160	-	-	96	-	-	
中会議室(あづま)	127	-	-	72	-	-	
小会議室(しのぶ)	61	-	-	45	-	-	
小会議室(もちずり)	58	-	-	-	-	-	口の字形式で18人収容可
和室(ほうらい)	64	-	60	-	-	-	
研修室(つきのわ)	82	-	-	54	-	-	
研修室(すりかみ)	61	-	-	30	-	-	

駐車場収容台数	78台(2時間まで無料) (大型バス不可)
バリアフリー	身障者用トイレ、スロープ、 点字ブロック
開館時間	9:00~22:00
休館日	施設点検時、年末年始

### Access



JR福島駅東口から約10分。



東北自動車道「福島西IC」から約20分。「福島飯坂IC」から約15分。



# 5

## コラッセふくしま(福島県産業振興センター)



福島市三河南町1-20 TEL 024(525)4089  
<http://www.corasse.com/>

新幹線を降りてすぐ、様々な用途での利用が可能な公共施設です。



企画展示室



多目的ホール

部屋の名称	面積 (㎡)	収容人数 (席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
多目的ホール	369	-	360	288	120	-	2分割可
企画展示室	288	-	144	144	-	-	4分割可
特別会議室	161	-	-	-	-	-	□の字形式(固定)で40人収容可
研修室	152	-	120	99	-	-	□の字形式で54人収容可 2分割可
中会議室401	134	-	120	81	-	-	□の字形式で54人収容可
小研修室	134	-	120	81	-	-	□の字形式で54人収容可
小会議室402	94	-	80	48	-	-	□の字形式で42人収容可 2分割可
小会議室302	78	-	48	48	-	-	□の字形式で32人収容可 2分割可
小会議室403	68	-	60	36	-	-	□の字形式で30人収容可
小会議室501	54	-	30	24	-	-	□の字形式で24人収容可
和室2	32	-	32	24	-	-	□の字形式で24人収容可
小会議室301	30	-	20	16	-	-	□の字形式で16人収容可
和室1	16	-	16	12	-	-	□の字形式で12人収容可

駐車場収容台数	135台 (最初の30分無料) (大型バス不可)
バリアフリー	身障者用トイレ、エレベーター、 点字ブロック、点字案内板
開館時間	9:00~21:00
休館日	年末年始

**Access**

JR福島駅西口から約3分。

東北自動車道「福島西IC」、  
「福島飯坂IC」から約15分。



# 6

## 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z(アオウゼ)



福島市曾根田町1-18 MAXふくしま4階 TEL 024(533)2344

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/active-jlgyou/aouz/>



多目的ホール



大活動室

イベントや展示、販売等多用途での利用が可能です。

部屋の名称	面積 (m <sup>2</sup> )	収容人数 (席)					備考
		固定席	シアター	スクール	円卓	立食	
多目的ホール	403	-	200	105	-	-	
視聴覚室	142	-	-	50	-	-	
大活動室1	112	-	-	50	-	-	一体使用可
2	123	-	-	50	-	-	
3	111	-	-	50	-	-	
小活動室1	84	-	-	30	-	-	//
2	84	-	-	30	-	-	
大活動室4	122	-	-	50	-	-	工芸室
和室1	21畳	-	20	-	-	-	
和室2	21畳	-	20	-	-	-	

駐車場収容台数	約1,000台(最初の2時間無料) (大型バス不可)
バリアフリー	身障者用トイレ、スロープ、エレベーター
開館時間	9:00~21:00 (受付時間 9:00~19:00)
休館日	年末年始 (一般開放スペースは除く)

### Access



JR福島駅東口から約10分。



福島交通飯坂線乗車(約2分)、  
「曾根田駅」下車、徒歩約1分。



福島交通バス「MAXふくしま」  
停留所下車、徒歩約3分。



# (3)再編対象施設の概要

## ①公会堂(昭和34年竣工:築59年)



### 【施設基礎情報】

所在地 :福島市松木町  
構造 :地上3階・地下1階(SRC造)  
延床面積 :4,259㎡  
駐車場 :45台  
設備 :ホール1,273席/楽屋控室4室

### 【施設概要】

本市の集客施設の中核として長年親しまれてきたシンボリック施設で、演劇や舞台の鑑賞会、各種講演会をはじめ、市民芸術活動の発表の場として多くの団体に利用されてきた。

### 【施設現況】

- ①施設老朽化により、平成30年3月末をもって休館
- ②新耐震基準に不適合

### 【利用状況】

- ①年間利用者は約6万人、ホール平均稼働率21%
- ②年間運営費約5千万円
- ③立地状況はバス路線・幹線道路沿線外
- ④市内類似施設  
パルセいいざか(1,940席)  
県文化センター(1,752席)  
福島テルサ(473席)  
音楽堂(1,002席) 等

# (3) 再編対象施設の概要

## ② 市民会館(昭和46年竣工: 築47年)



### 【施設基礎情報】

所在地 : 福島市霞町

構造 : 地上6階・地下1階(RC造)

延床面積 : 6,547㎡

駐車場 : 100台

設備 : ホール×2 / 会議室×19 / 茶室茶道室  
×2 / 華道室 / 料理教室 / 音楽室

### 【施設概要】

本市の基幹的集会施設として、長年市民の集会等に利用されてきた。

### 【施設現況】

- ① 築47年経過により施設老朽化が進行
- ② 新耐震基準に不適合(避難所指定あり)

### 【利用状況】

- ① 年間利用者は約19万人、全館平均稼働率42%
- ② 年間運営費約1.3億円
- ③ バス路線・幹線道路沿線に立地している
- ④ 施設内に「さんどパーク」、「敬老センター」が併設
- ⑤ 市内類似施設

アオウゼ、福島テルサ、中央学習センター 等

#### (4) 他自治体の類似施設整備事例等に基づく仮事業費の試算

※この仮事業費等は、再編整備前の現有施設面積（市役所本庁舎西棟及び消防本部/福島消防署については仮の面積）に他自治体の施設整備実績単価等を用いて算出した参考値であり、今後の具体的な施設整備の検討によって施設面積や事業費・財源内訳に変動が生じるものです。

駅前再開発事業に対する法定補助金は別途必要となる可能性がある

(単位:億円)

施設名	仮事業費	財源内訳			
		国・県支出金	市債	基金繰入金等	一般財源
コンベンション施設 (公会堂機能+市民会館機能)	120	※	90		30
市役所本庁舎西棟 (中央学習センター機能+市民会館機能 +敬老センター機能)	70	6	18	43	3
図書館本館	15	4	9		2
消防本部/福島消防署	30		24		6
合計	235	10	141	43	41

※コンベンション施設について、国・県補助金等の積極的な活用を検討して参ります。

#### その他 留意事項

- ・仮に市役所本庁舎西棟に立体駐車場を整備する場合、別途約5億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署の既存建物除却費用として、別途約10億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署跡地の土地売却収入額は試算していない。
- ・さんどパークに関連する仮事業費は試算していない。

## 6. 福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)

# 福島駅東口地区第一種市街地 再開発事業の概要

福島駅東口市街地再開発準備組合

# I. 再開発計画地区の概要

## 【当準備組合の概要】

名 称	福島駅東口市街地再開発準備組合
住 所	福島県福島市栄町10番4号 エスケ-栄町ビルⅢ
設 立 日	平成30年4月2日
理 事 長	塚原 洋一（有限会社 大野屋 代表取締役社長）
組 合 員	11名（再開発計画地区内の地権者は13名）
事業協力者	野村不動産 株式会社

※ 平成30年12月末現在、地権者13名に対し組合員は11名。  
残り2名は今後加入する意向を確認済み。

## 【当再開発事業の位置】



福島駅東口市街地再開発準備組合提供資料



## Ⅱ. 開発コンセプト

### ■ 開発のコンセプト

官民共創による「県都ふくしま」にふさわしい『持続性のあるにぎわい』拠点づくり  
～ 南東北の交通結節点と駅前立地を生かした広域交流空間の形成 ～

### ■ 実現に向けた4つの共創空間

共創空間 1  
『にぎわい空間』の  
共創  
～商業機能～

共創空間 2  
『つどい空間』の共創  
～コンベンション・ホテル  
機能～

共創空間 3  
『いこい空間』の共創  
～広場機能～

共創空間 4  
『すまい空間』の共創  
～住居機能～

複合用途開発による相互連携・相乗効果・回遊性強化

### Ⅲ. 再開発施設計画

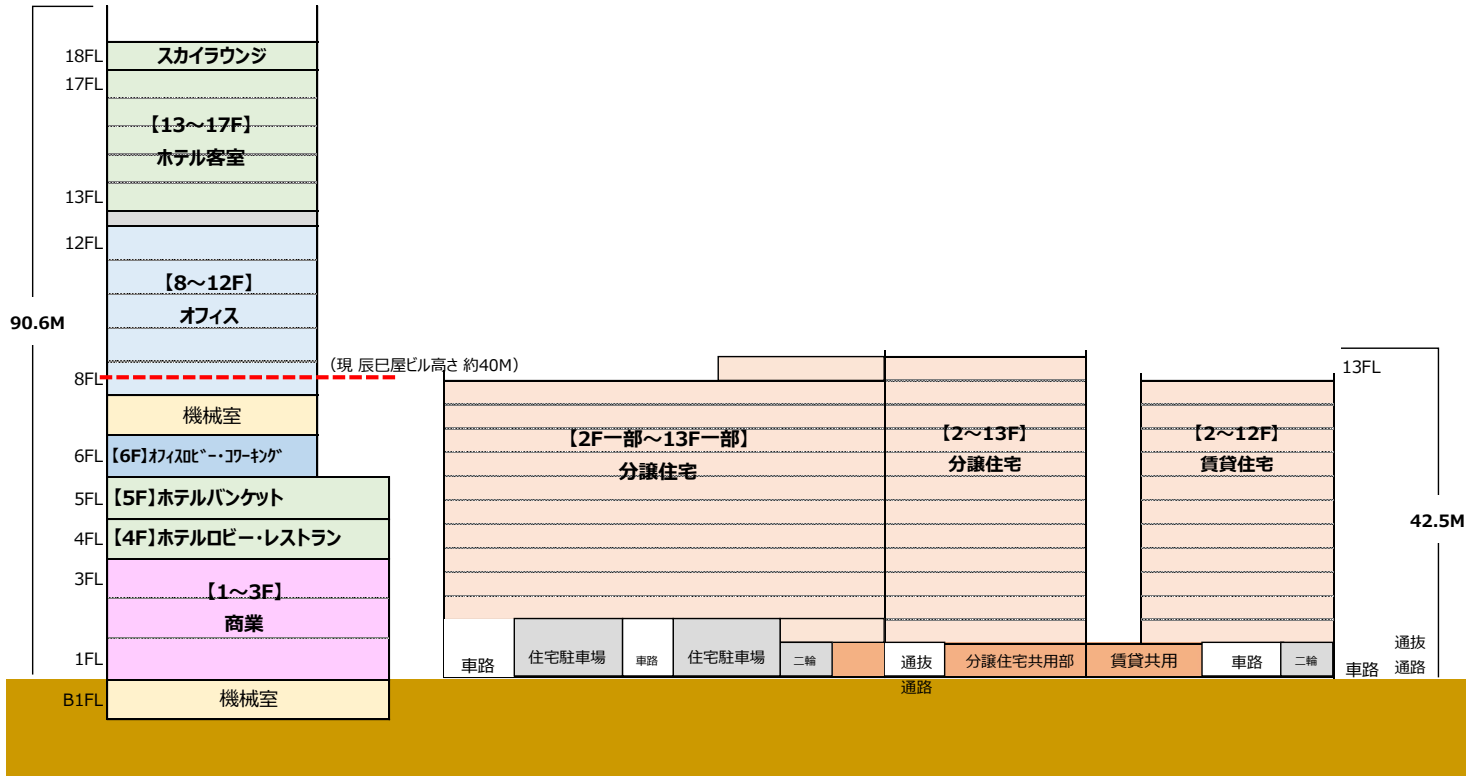
- 本再開発事業は、市街地の土地の合理化かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、建築物及び敷地整備、並びに公益的施設の整備を一体的に行うことができる市街地再開発事業による整備を推進し、再開発組合が施行者となる「第一種市街地再開発事業（権利変換方式）」により事業化を図ります。

#### 【施設計画（※ 現時点での構想）】

- 【敷地面積】 約12,700㎡（商業地域、防火地域）
- 【規模】 高さ約90m（18階建） 延床面積約84,000㎡
- 【主要用途】 商業（1～3F）  
業務（オフィス）（8～12F）  
公益的施設（コンベンションホールなど）（3～8F）  
ホテル（バンケット機能付）（13～17F）  
住居（分譲マンション、賃貸マンション）  
駐車場（自走式）

# (参考) 断面イメージ (あづま陸橋側)

JR  
福島駅側

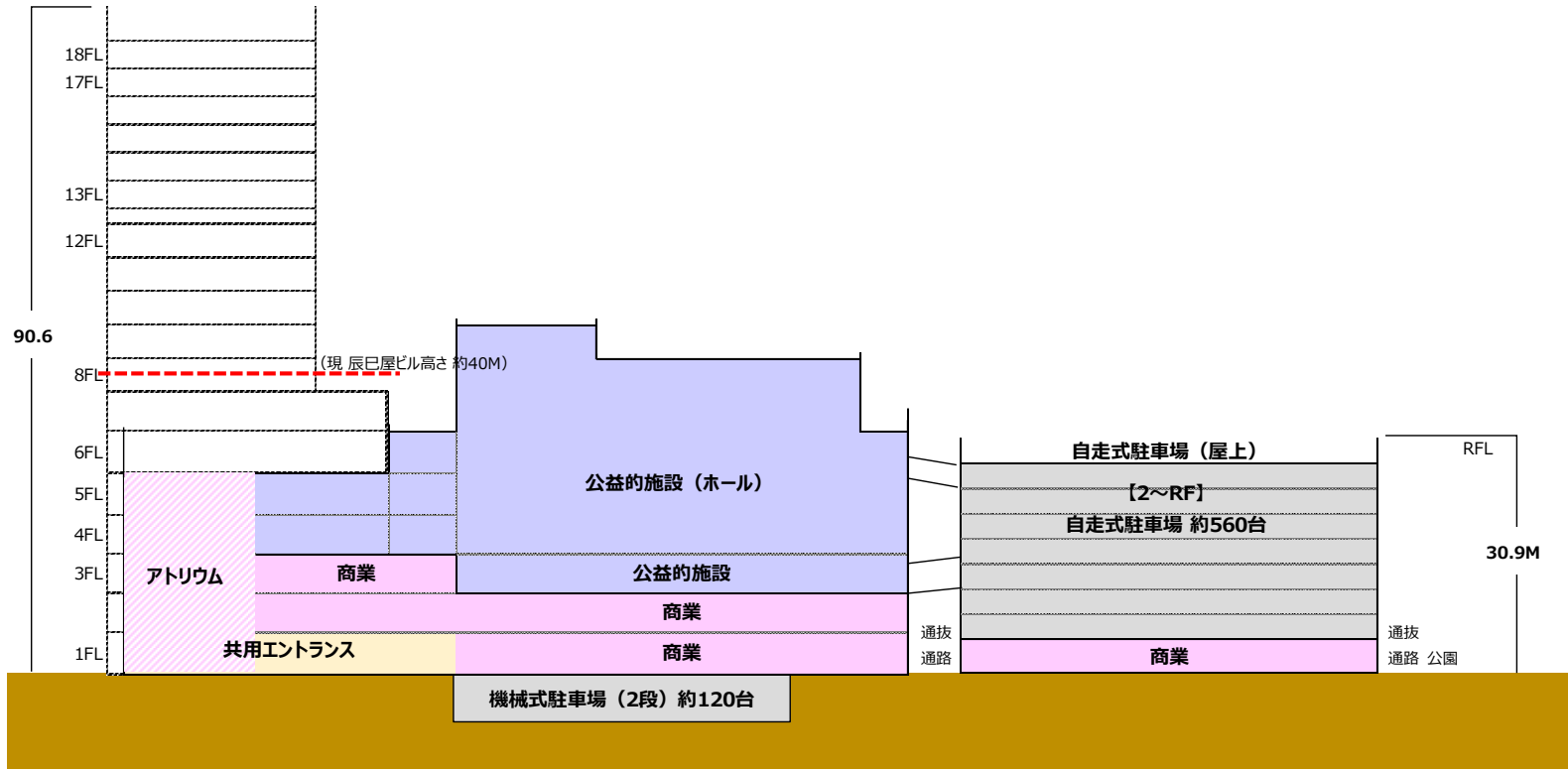


福島県立医大新学部側

# (参考) 断面イメージ (駅前通り側)

JR  
福島駅側

福島県立医大新学部側



福島駅東口市街地再開発準備組合提供資料

## (参考) 1階イメージ (アトリウム・商業・広場)

### ① 駅広と連携する全天候型屋内広場 (にぎわい空間)

建物及びまちの顔になる広場。あえて駅広場へ入り口の正面を向けることで多くの人を建物に引き入れます。

2階へダイレクトにアクセスするエスカレータを整備し2階のポテンシャル向上を図ります。



### ② 路面への賑いの染み出し (にぎわい空間)

路面に対して商業施設を配置し、オープンカフェなどを計画していくとともに、効果的なフリースペース計画により、歩行者の回遊性の向上を目指します。



### ③ 人の流れを作る通路

開発周辺の回遊を促すため、駅前通りと南側の道路を繋ぐ通り抜け通路を計画します。

### ④ 商業機能と連携したイベント広場 (にぎわい空間)

建物内の動線と貫通通路の交点に、建物の象徴となる広場を配置し、賑いと交流の核づくりを図ります。



### ⑤ 県立医大ともつながるコミュニティ広場 (いこい空間)

子どもからお年寄りまでの幅広い世代が日常的にまちを楽しみ、すごせる広場機能を県立医大側に整備します。





## (参考) 2～3階イメージ (駐車場・平土間コンベンション)

### ①大規模駐車場の整備

駅前の駐車場不足を解消するため、大規模駐車場を整備します。また、街の駐車場として機能するよう、中心市街地（敷地東側）に配置します。認定駐車場を採用することで、建築コストを削減します。



### ②平土間のコンベンション (展示・集会) 機能 (つどい空間)

周辺の医療機関や大学と連携した学会の誘致をはじめ、様々なイベントを催すことができる、広域集客力のあるコンベンション施設を導入します。運営に当たっては、官民連携により、民間事業者のノウハウを生かしながら、公益的施設としての質の高いサービスを提供します。



# (参考) 4～5階イメージ (ホテルレストラン・バンケット・コンベンションホール)

## ①ホテルレストラン&ロビー

レストラン&ロビーは、バンケットやコンベンションと機能連携可能な工夫を施します。



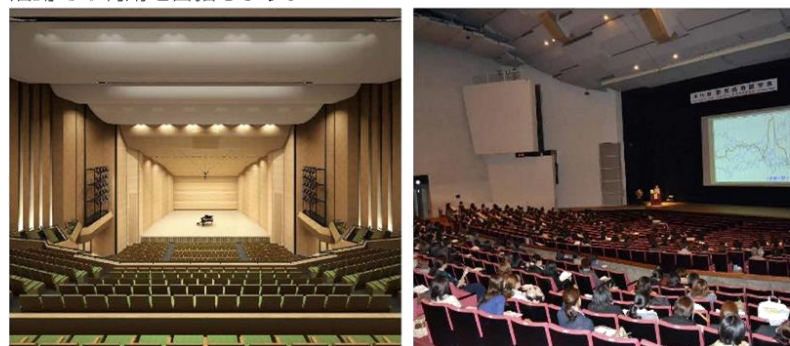
## ②コンベンションと連携するホテルバンケット機能 (つどい空間)

コンベンションホールと機能連携しやすい位置にバンケットを設けます。



## ③多目的コンベンションホール (つどい空間)

多目的に利用可能なシアター型コンベンションホールは、市民の芸術・文化活動での利用を目指します。





## (参考) 6・8階イメージ (コワーキング・オフィス・分譲住宅)

### ①コワーキングスペース

出張で訪れたビジネスマンやスタートアップ企業の利用を見据えたコワーキングスペース機能を設置します。



### ②使いやすいオフィス空間

典型的なオフィスモジュールを採用し、テナントの変更にも対応できる、汎用性の高いオフィス空間を提供します。



### ③全戸南向きの付加価値の高い住居機能 (すまい空間)

街なか居住を促進する質の高い分譲住宅を設置します。また、住宅の一部には賃貸住宅を設け、学生や一人暮らしの高齢者への居住環境を提供します。





## (参考) 13～18階イメージ (ホテル客室・スカイラウンジ)

### ①ホテル客室

ホテルは高層棟最上部に計画するとともに、おもてなしの機能としてふさわしいグレードのホテルの誘致を目指します。



### ②スカイラウンジ

ホテル最上階には、吾妻連峰を望めるスカイラウンジを計画。パノラミックな景観を楽しむことができます。



## 7. 今後の進め方

### 第2回委員会において

- ・本市のコンベンション開催状況
- ・将来的なコンベンション・催事等の開催予測  
（本市のポテンシャルの分析）
- ・イニシャルコスト・ランニングコストの分析
- ・経済波及効果等の分析 等

⇒施設規模・機能等についてたたき台を提示予定

⇒全体のスケジュールについては別紙参照

## ～事務連絡～

※ 次回の委員会は

とき 5月29日（水）13:30～

ところ 市役所4階 庁議室

での開催を予定しています。